

報告書のまとめに向けて (4 今後の「地域版 ESD」の推進に向けてのポイント)

4 今後の「地域版 ESD」の推進に向けて

・事業実施にあたってのポイント

(1)コーディネーターの発掘

- ・特別なスキルや資格は不要
- ・子どもと一緒に何かをしたいと思う人に声をかける
- ・伴走支援により育成

(2)子どもの意見が出やすいコーディネート

- ・子どもが主体となって活動できる場をつくる
- ・必要以上の口出しをしない
- ・子どもの主体性を引き出す問いかけを行う
- ・大人の知識を一方向的に教えるのではなく、子どもの知っていることを引き出す
- ・子どもが出す意見を尊重し、可能な限り意見を取り入れ、反映する
- ・褒めることや自ら考えなおすことを促す声掛けを意識する
- ・自由に意見を出すだけでなく実現可能性を加味して検討することを伝える

(3)「楽しむ」ことを主眼に置いた事業展開

- ・子どもも大人も楽しみながら学べる進め方を検討する

(4)事業の継続性

- ・継続的に地域活動に関わってもらえる受け皿づくり
- ・保護者世代を巻き込む工夫が必要
- ・「地域の担い手づくり」、「持続可能な地域づくり」へ